2015年度版放送マニュアル

●訂正

言い間違えた場合……

「失礼しました。(○○の確認をお願いします。)」

# （ア）計時・警告担当

○計時

アナウンスの「行射を開始してください」で計時スタート：制限時間は６分

横矢・的ずれの時、進行係の合図で計時ストップ、「行射を再開してください」でスタート。

○警告

・３０秒前で「リン」

・ 制限時間に達したら「リンリン」　→鳴らすのは躊躇しない！！

# （イ）放送

**【矢渡し終了後のアナウンス】**

射手と介添えが退場後、放送の指示をもらう……

「引き続きまして的付けを行いますので、各大学の代表者の方は射場内にお集まりください。的付け終了後、競技を開始いたしますので△大学□チーム、……の方は第２控えにお集まりください。」

**【はじめ】**

進行：“ただいまより競射を開始いたします。”

進行の人が席に戻ったら……「起立」「射位へお進みください」

すべてのチームの大前の胴造りが完了……「行射を開始してください。」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　→　計時スタート!!

**○基本**

①前の立ちの一番遅いチームの落の２本目終了で、選手が入場してくる

②前の立ちの一番遅いチームの中（落前）４本目の弦音で選手は起立し本座へ進む

③一番遅いチームの落の４本目終了後「確認お願いします」（的場の作業の終了を待ったりせずに）すぐに「射位にお進み下さい」と言う→それを合図に射位に進む

④(赤旗が揚がらなければ｢赤旗揚げてください｣)

⑤介添えから確認の要請は進行係を通してくる。もしあれば｢第○射場○、確認してください｣と言う

⑥介添えにＯＫもらう

⑦「はい、確認しました。矢取りをお願いします」

⑧矢取りが終わって赤旗が下がり(赤旗が下がらなければ｢赤旗下げてください｣)、全てのチームの大前が胴作りを完了したら直ちに、「行射を開始してください」と指示（2的から落の胴造りが完了していなくても開始の合図をする。）

⑨制限時間になって計時担当が「リンリン」と鳴らすので、取り掛けていない選手に対して「制限時間なので退場してください」と伝え、退場させる

**【的ずれ・横矢】**

進行係の合図……計時を止める。

進行の合図（第○射場○的ずれ・横矢）を受け、反対側の進行係に行射を停止するように伝える。

※小声で、「前射場/後射場の進行を止めてください。」と伝える。進行係へ呼びかける際は固有名詞（あだ名など普段の呼び名）を避ける。

前後の進行係が行射を止める。両側の進行係が本部に戻り、射手が全員引き終わるのを確認する。その後、放送を流す。

※赤旗の揚げ下げを忘れている場合は、「前射場/後射場、赤旗を揚げてください/下げてください。」という。これは、確認の際も同様。

●的ずれ

合図の後……「第○射場、○の的を直してください。」

的前審判が的中の確認をする。

記録・進行のOKの合図……「確認しました。的を直してください。」

進行が肉声で射手に確認をし、OKの合図（“ありがとうございました。“）をだす。その後、的前審判が安土から出て、赤旗が下がったら……「行射を再開して下さい。」

→　計時再開!!

●横矢

合図の後……「第○射場、○の横矢を回収して下さい。」

※確認は矢が的にささっているときのみ。

回収後、赤旗が下がったら……「行射を再開して下さい。」　→　計時再開!!

●ex.３的の射手が２的に当ててしまった場合

的前審判は的中数を確認することなく横矢を回収するのみ。

**○横矢の対応**

射手または介添えから横矢回収の要望が出る。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 進行係 | 放送係 | 的前審判･確認係 | 看的・矢取り係 |
| 直ちに放送係に合図して、計時を止めさせる。→行射をとめる→放送係に処理を頼む | 進行係の合図を受け、計時を止める。 |  |  |
|  | 「第○射場○○、横矢を回収して下さい」 |  |  |
|  |  |  | 赤旗を出す |
|  |  | 速やかに横矢回収　横矢が的にささっているときのみ確認する「○中です」 |  |
|  |  |  | 赤旗を下げる |
|  | 「行射を再開してください」 |  |  |

**○的ずれの処理**

射手または介添えから的直しの要望が出る。完全に的が外れるくらい的の位置が変ったのでない限り、本部の判断で行射を止めて的を直すことはない

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 進行係 | 放送係　記録係 | 的前審判･確認係 | 矢取・看的 |
| 直ちに放送係に合図して、計時を止めさせる。 | 放送；進行係の合図を受け、計時を止める。 |  |  |
| 前後の進行係で行射をとめる→放送係に処理を頼む |  |  |  |
| 行射が止まったことを確認→放送係に合図 | 放送；「第○射場○○、的を直して下さい」 |  |  |
|  |  |  | 赤旗を出す |
| 射手に歩み寄る |  | 確認担当：「第○射場○○、現在○中です」といい、手を挙げる。（まだ矢は抜かない！） |  |
|  | 記録：的中に問題がなければ放送にＯＫ合図放送:「確認しました。的を直して下さい」 |  |  |
|  |  | 速やかに的を直す。矢の回収を行う場合もある。→的の前からどいて手を挙げ射場に向く＊が、やむをえない場合は自身の判断でここで勝手に的替え | 的に矢が刺さっていれば的前審判から受け取りに行く。 |
| 肉声で：射手にいいか聞くＮＧ→修正を指示ＯＫ |  | ＊ＯＫが出るまで直す |  |
| 　　「ありがとうございました」 |  |  |  |
|  |  |  | 赤旗下げる |
|  | 「行射を再開してください」 |  |  |

※射手から的直しの要望が出なかった場合、矢取りの際に、本部もしくは的場の判断で的を直す。進行係が次の射手にいいかどうか聞く。OKが出たら行射を開始。

的前の仕事はスピード勝負！大きな大会ではここに時間内に終了できるか否かが懸かっているので、みなさんがんばってください！

**【確認】**

・一番遅いチームの落ちの4本目終了（安土に矢がささり、選手が弓倒しをし次第）

……「確認して下さい」

一番遅いチームの落ちの人が後ろに一歩下がり（射位から出て）、向きを変え始めたら

……「射位へお進みください。」

※赤旗が揚がらなければ「赤旗を揚げてください」

・介添えからの確認の要請は進行係を通してくる。

●的中数確認

進行係から確認の要請……「第○射場、○の確認をお願いします。」

介添えのOKがでて、進行係の合図を受ける。記録係は的中数に問題がなければ合図をする。

●看的とサイコロの不適合……「看的を直してください。」

（的前審判・確認係がさいころを直し、かつ的場中央で手を挙げた時点で看的が直っていない場合。記録係や介添えから確認の要請がくる）

記録係から確認の要請→「第○射場の○の確認をお願いします。」

→的前審判が再度確認した後も、サイコロと看的が合っていない

→「第○射場○の○本目の看的を直してください。」

※ 何本めの看的を直すべきなのかを具体的に提示すると親切。

　→進行係と記録係からOKの合図

　→「確認しました。矢取りをしてください。」

的前審判が中央でしっかり手を挙げていることを確認する。進行・記録のOKの合図が出る。……「確認しました。矢取りをしてください。」

※放送係は、進行・記録係からの合図がない限り、独断で矢取りをお願いしてはならない。

・矢取りが終わって赤旗が下がったかどうかを確認。

赤旗が下がっていない場合……「前射場/後射場赤旗を下げてください。」

看的が元に戻っていない場合……「前射場/後射場看的を元に戻してください。」

・すべてのチームの大前が銅造りを完了……「行射を開始して下さい。」

　(中、御落の銅造りが完了していなくても開始の合図をする。)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 射手 | 的前 | 進行 | 記録 | 放送 |
| 弓倒し |  |  |  |  |
| 退場次の射手が射位に進む |  |  |  | 「確認してください。」「射位へお進みください。」 |
|  | 矢取り)さいころ配置的前審判)挙手 |  |  |  |
|  |  | 介添えに確認する | 手元の的中結果と照合 |  |
|  |  | 放送を見る | 放送を見る | 進行・記録からOKをもらう |
|  |  |  |  | <OKの時>「確認しました、矢取りをしてください。」 |
|  |  |  |  | <NGの時>「第●射場○の確認をしてください」 |
|  | 指定された場所の確認をする「 |  |  |  |

**【終了時】**　　３立ち目終了後

進行：“ただいまをもちまして午前の部を終了いたします“

「ただいまから昼休み（休憩）といたします。」

「（　）：（　）から競技を再開いたします。」

「（　）：（　）（10分前）より的付けを行いますので、各大学の代表者の方は射場までお集まりください。なお、１立ち目の選手の点呼も行いますので、第２控えにお集まりください。」

・終/始

進行：“ただいまをもちまして競射を終了いたします。”

主将・副将など、決中責任者から指示をもらう……

「ただいま集計をしております。結果が出るまでしばらくお待ちください。」←許可もらってからね☆

時間・対象選手が決定し、放送の指示……

「決中は（　）：（　）から行います。対象選手の方は（　）：（　）までに近的射場入り口前にお集まりください。また、的付けも行いますので出場選手の所属する大学の代表者の方は今すぐ射場までお集まりください。」

# 決中(射詰め・遠近)

## ①決中準備

決中責任者(主将、副将)から指示が出たら決中のアナウンス。決中の選手がわかったら大学名・チーム名・氏名(振り仮名も)をメモしておく。遠近や射詰めの際、進行係や記録係はどこの誰に決定したかまでは把握していないため、あらかじめ自分で控えておき、進行係が席に着いたら結果を速やかに放送できるようにしておく。

## ②射詰め

進行「只今より、男子個人優勝・準優勝決定射詰めを行います。」

 進行、着席

放送「選手の方は矢を一本持ってご起立ください。(選手立つ)はじめ。」

 選手、競射(最後の射手が弓倒し)

放送「確認してください。」

 的前審判・矢取り入場

的審「大前的中、二的残念、三的残念、四的残念です。」(的審は全ての的一気に言う)

 進行(介添え)、記録が確認

(異議申し立てがないとき)

 進行・記録とアイコンタクト→OK

放送「確認しました」

 矢取り。

(異議申し立てがあるとき)

放送「大前の確認をしてください」

的前審判「大前、的中です」

 介添えがOK、記録が確認

記録「はい！」

放送「確認しました」

(順位決定)

放送「只今の結果、男子個人優勝は○○大学★★さんに決定いたしました」

 拍手

放送「選手は退場してください」

 選手退場

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 的中結果 | 異議ありの時 | 異議なしの時 |
| ①○××× | 放送「●●の確認をしてください」的審「●●、的中です」介添えＯＫ，記録確認記録「はい！」放送「確認しました。」　矢取り | 放送「只今の結果、男子個人優勝は○○大学★★さんに決定いたしました。」　拍手放送「選手は退場してください」　選手退場放送「続きまして、男子個人2位、3位決定遠近を行いますので、出場する選手の所属する大学の代表者の方は射場にお集まりください」 |
| ②××××○○○○ | 同上 | 放送「選手は矢を持ってご起立ください。」　選手、定位置に進む放送「はじめ」　結果次第で他のパターンを行う。 |
| ③○○○×○○×× | 同上 | 放送「第●射場☆☆の方は退場してください。」　残念の選手が退場をし始める。放送「選手は矢を持ってご起立ください」　選手、定位置に進む放送「はじめ」 |

## 遠近

放送「これより、遠近競射を行いますので、出場する選手の所属する大学の代表者の方は的場にお集まりください。」

進行：“ただいまより、第一射場（前射場）にて男子個人２位、３位決定遠近を、第二射場にて女子個人３位決定遠近を行います。”

進行係が席に着く

放送「起立」「射位へお進みください。」

すべての射手の銅造りが完了

放送「行射を開始して下さい。」

最後の射手が終了（安土に矢がささり一息ついたら）

放送「確認して下さい。」

進行係が的前審判より矢を受け取り、上位の選手から矢を渡す。

進行係が席に着く

放送「ただいまの結果、個人第○位、△大学□さんに決定いたしました。」

拍手がなりやんだころ

放送「選手は退場して下さい。」

## 終了

進行「只今を持ちまして競射を終了いたします。」

放送「(　　：　　)から閉会式を行いますので、射場にお集まりください。」

## その他

◎今大会で徹底したこと

・「射位へお進みください」「確認して下さい」「矢取りをしてください」など、言葉の統一。

・「行射を開始して下さい」はすべての大前の胴造りが完了した後。

（一番遅い大前の胴造りが完了したら直ちに言う。）

　・「的ずれを直した後の「行射を再開して下さい。」は、進行係が席に着いた後ではなく、

赤旗が下がったらとする。

　・「射位へお進みください。」は、一番遅いチームの御落が後ろに一歩下がった（射位からでた）あと、向きを変え始めたころとする。

◎注意すべき点

・行射を開始した際、計時を忘れずに開始すること。

・「確認して下さい。」のあと、「射位へお進みください。」というのを忘れないこと。

　　→的場の確認に気を取られていると、意外と忘れやすいため注意。

・記録係や進行係からのOKの合図が出ていても、的前審判が確認を終えて中央で手を

あげ終えていないうちは、「確認しました。矢取りをしてください。」と言ってはならない。的前審判が確認を終えたことをしっかりと確認してから放送を流すこと。

・リハーサルでは、トラブル（的ずれや横矢など）への対応の練習がメインだが、大会当日は、トラブルよりも確認の要請の方が多いため、確認の練習もしておくとよい。

・足を組むといった仕草に注意すること。座り方は意外と目立ちます!!

・射場内（主に記録係・進行係）はもちろん、的場との連携も重要。

◎今大会で他の係へお願いしたこと

〈進行係・記録係へ〉

・「確認して下さい。」の後の進行・記録への確認について

　→前射場・後ろ射場のそれぞれの係から、「前射場/後射場大丈夫です。」ということを口に出して放送係に伝えてもらう。的中を確認してほしい場合は、“○射場○の確認”というように、口に出して伝えてもらう。

＜記録係へ＞

・的中が曖昧なものに関しては、？マークなどのしるしをつけておき、看的をなす際に、

何本目を直したらよいかということを把握しておく。また、曖昧なものの把握に関して

は、看的の係も同様に、自分で分かりやすいように目印等をしておく。

・射詰の的中確認は、記録係が的前審判に対して、“はい”と返事をする。

◎地震

競技中に強い地震が来た場合は、ベルを３回鳴らし、行射の中断を促す（進行係が挙手or合図、または放送係が自分の判断で）。行射が中断されている間は、計時も中断される。地震がおさまり、放送係の「行射を再開して下さい。」のアナウンスが流れたら、行射を再開する（計時も再開）。